

令和3年度 事業調査結果A 文化芸術分野(令和2年度実施事業)

参考資料 1

◎調査結果Aの対象事業は以下のとおりです。

調査結果Aの事業は、主に以下の(1)～(3)に該当する事業です。
 (1) アカデミー推進計画(平成28年3月)のp16～79に掲載されている事業
 (2) 「文の京」総合戦略の計画事業のうち、主要課題が「文化資源を活用した文化芸術の振興」「誰もが観光に訪れたいくなるまちの環境整備」「都市交流の促進」「図書館機能の向上」「東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会の推進とレガシーの継承」に該当する事業
 (3) 令和2年度の重点施策事業のうち、「活力と魅力あふれるまちの創造」「文化的で豊かな共生社会の実現」に該当し、アカデミー推進計画の5分野に関する事業

※それ以外の事業は「令和3年度 事業調査結果B 文化芸術分野」に掲載されています。

調査結果Aの記載内容について

調査結果Aの各項目については、以下の内容が記載されています。

- 「頁」
 - ・「アカデミー推進計画」の掲載ページ
- 「総合戦略事業番号」
 - ・「文の京」総合戦略の計画事業の事業番号
- 「事業名」
 - ・事業名
- 「事業概要」
 - ・事業概要
- 「事業費」
 - ・事業に係る予算及び決算
- 「実績(数)」
 - ・当初予定数(定員)：当初予定していた参加者数や発行部数等(事業の定員や予算計上時の積算数等)
 - 実績数：実際の参加者数、発行部数等
 - 申込数：申込者数等
- 「参加者満足度」
 - ・事業でアンケートを実施した場合、「満足」や「よかった」と回答した割合
- 「事業実施内容」
 - ・令和2年度事業の実施状況
- 「成果」
 - ・事業で得られた成果
- 「課題」
 - ・不十分だった点や改善すべき点
- 「課題解決に向けた取組」
 - ・課題解決に向けた今後の事業の取組
- 「担当課」
 - ・事業を担当する課

文化芸術		(所管課)
【分野別目標1】 だれもが文化芸術に親しむことができる環境づくり		
1	文化・芸術に親しむ発表会、大会等の実施	アカデミー推進課
2	I don't know(能)・・・NO(能)problem!～みんなで親しむ「能(Noh)プロジェクト～	アカデミー推進課
3	夜能動画配信事業	アカデミー推進課
4	事業提携楽団によるコンサート	アカデミー推進課
5	小・中学生のための出前コンサート	アカデミー推進課
6	文の京コミュニティコンサート	アカデミー推進課
7	小・中学生のための歴史教室	アカデミー推進課
8	文京ミュージックフェスタ	アカデミー推進課
9	子ども俳句大会	アカデミー推進課
10	親子向けコンサート	アカデミー推進課
11	紙媒体による情報提供	アカデミー推進課
【分野別目標2】 文化芸術を鑑賞・創造する活動の支援		
12	「アートウォール・シビック」への作品展示	アカデミー推進課
13	観客参加型公演	アカデミー推進課
14	朗読コンテスト	アカデミー推進課
15	かるたの街文京を発信!	アカデミー推進課
16	まるキャンマーケット～夏の陣、冬の陣～	アカデミー推進課
17	文京シビックホール(響きの森文京公会堂)の施設運営	アカデミー推進課
18	吹奏楽アンサンブルコンテスト	アカデミー推進課
19	楽器演奏指導	アカデミー推進課
20	舞台芸術創造事業(大ホール)	アカデミー推進課
21	舞台芸術創造事業(小ホール)	アカデミー推進課
22	シビックコンサート	アカデミー推進課
23	カレッジコンサート	アカデミー推進課
【分野別目標3】 「文の京」の文化を守り、伝え、活用する仕組みづくり		
24	史跡めぐり	アカデミー推進課
25	文京ゆかりの文化人顕彰事業	アカデミー推進課
26	文の京ワークショップ	アカデミー推進課
27	新・観潮楼歌会	アカデミー推進課
28	「文の京文化発信プロジェクト」	アカデミー推進課
29	文京ふるさと歴史館友の会の支援	アカデミー推進課
30	文京ふるさと歴史館常設展示解説ボランティア	アカデミー推進課
31	森鷗外記念館解説ボランティア	アカデミー推進課
32	技能名匠認定事業	経済課
33	文京ふるさと歴史館特別展	アカデミー推進課
34	文京ふるさと歴史館収蔵品展	アカデミー推進課
35	森鷗外記念館特別展・コレクション企画	アカデミー推進課
36	映像資料調査・保存事業	アカデミー推進課
37	指定文化財等の保護・保存と管理	教育総務課
38	文の京ミュージアムネットワーク	アカデミー推進課
39	コンピューターによる館内閲覧システム	アカデミー推進課
40	文京ふるさと歴史館だより・年報の発行	アカデミー推進課
41	森鷗外記念館ニュース・年報の発行	アカデミー推進課

令和3年度 事業調査結果A 文化芸術分野(令和2年度実施事業)

【分野別目標1】 だれもが文化芸術に親しむことができる環境づくり

整理No.	頁	総合戦略 事業番号	事業名	事業概要	事業費(千円)	実績(数)	参加者 満足度	事業実施内容	成果	課題	課題解決に向けた取組	担当課		
【基本的な方向性(1)】 文化芸術への興味や知識を高める														
1	42	119	文化・芸術に親しむ発表会、大会等の実施	文京区秋の文化祭(華道展、茶会、書道展、絵画展)、各種つどい・大会事業(民謡、謡曲、吟剣詩舞道、合唱、日本舞踊、三曲、民謡)、企画展、区民能楽鑑賞会を実施する。	予算	12,728	当初予定数 (定員等)	—	・文化祭(華道展・書道展・絵画展) 10月2日～11月1日 会場 シビックセンター 1階ギャラリーシビック、アートサロン ・民謡のつどい 9月20日 会場 シビックホール小ホール ※民謡のつどい・謡曲のつどい・吟剣詩舞道大会・合唱のつどい・日本舞踊のつどい・三曲のつどい・区民能楽鑑賞会は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、中止。 ※企画展「能～ぶんきょうで育まれた宝生能楽堂～展」は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、延期。	新型コロナウイルス感染症の状況を鑑みて、実施可能な事業については感染症対策を徹底して実施した。 コロナ禍で文化・芸術活動の発表の場が制限されてしまっている中での開催だったため、参加者・出品者・来場者から多くの喜びの声をいただくことができた。	文化祭や各種つどい・大会については、参加者の固定化・高齢化が進んでいる。 また、引き続き新型コロナウイルス感染症の影響を受ける事業が多数あることが予想される。	区内大学へ積極的に周知を行う等、新規参加者・若年層の参加者の開拓に力を入れる。 また、コロナ対策を徹底しながら、事業実施に向けて最善の方法を検討していく。	アカデミー 推進課	
					決算	7,080	実績数	7,092 人						—
							申込数	—						—
2		119	I don't know (能) ...NO (能) problem! ～みんなでお楽しみ「能(Noh)プロジェクト」～	子どもたちに区内の貴重な文化資源である能に興味を持ってもらえるよう、公益社団法人宝生会と連携し、「鑑賞」と「体験」を交えた能に係るプログラムを実施する。	予算	1,053	当初予定数 (定員等)	—	令和2年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため開催中止。 ただし、代替事業として、夜能動画配信事業を実施し、多くの申込をいただいた。	令和2年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため開催中止。	本事業の性質上、密閉・密集・密接を完全に避けることが困難であるため、コロナ禍における事業内容や実施方法を検討していく必要がある。	公益社団法人宝生会と協議し、オンラインの活用等も含め、子ども向けの事業を検討する。	アカデミー 推進課	
					決算	—	実績数	—						—
							申込数	—						—
3			夜能動画配信事業	公益社団法人宝生会による有料動画配信を利用し、区民が能楽動画を観賞できるようにすることで、コロナ禍における文化施策の一つとして、自宅等にいながらも宝生流の能楽を観賞し、区の有する貴重な文化資源に触れる機会を創出する。	予算	—	当初予定数 (定員等)	—	公益社団法人宝生会の運営する「能LIFEオンライン」で配信される有料コンテンツである「夜能」の動画4本を、4か月連続で区民に無料公開した。 【12月募集】「生田敦盛」 申込数277人 【1月募集】「祇王」 申込数201人 【2月募集】「雷電」 申込数207人 【3月募集】「葵上」 申込数269人	人気俳優が朗読を務めることで注目を集めている「夜能」の動画を活用することで、定員を超えるお申込みをいただき、能楽に触れる機会を多くの方に提供することができた。	夜能動画配信のみならず、新しい生活様式に対応した新たな事業の可能性も検討する必要がある。	公益社団法人宝生会と協議し、事業内容を企画・検討する。	アカデミー 推進課	
					決算	1,134	実績数	—						—
							申込数	—						—
4	42		事業提携楽団によるコンサート	区及び(公財)文京アカデミーと事業提携を結ぶ、東京フィルハーモニー交響楽団及びシエナ・ウインド・オーケストラの協力によりコンサートを開催する。	予算	30,442	当初予定数 (定員等)	6,608 人	【平成14年度～】響きの森クラシック・シリーズ Vol.72 6月6日(土)中止 Vol.73 9月5日(土)実施 688名 Vol.75 3月27日(土)実施 773名 フレッシュ名曲コンサート ランチタイムコンサート 5月26日(火)中止 【平成22年度～】シエナ・ウインド・オーケストラによるコンサート 11月21日(土)実施 568名	事業提携楽団である東京フィルの「響きの森クラシック・シリーズ」及びシエナ・ウインド・オーケストラの公演は、共に固定のファンが増加しており、公演チケット販売が安定している。 令和2年度は、新型コロナウイルスの影響により事業中止または入場定員を半数程度に制限して実施した。	新型コロナウイルスの拡大や改修工事に伴うホール休館によりホールに来場できない状況においても、区民が文化芸術に対して興味を高める方策を講じる必要がある。	休館中においても、ユーチューブによる動画配信や近隣のホールを使用した公演を実施し、文化芸術の発信を継続する。	アカデミー 推進課	
					決算	23,846	実績数	2,029 人						30.7%
							申込数	—						—
5	42		小・中学生のための出前コンサート	区及び(公財)文京アカデミーと事業提携を結ぶ、東京フィルハーモニー交響楽団及びシエナ・ウインド・オーケストラの協力により、区立小・中学校への出前コンサートを行う。	予算	2,310	当初予定数 (定員等)	4 回	【平成20年度～】小学校／東京フィルハーモニー交響楽団 根津小学校 11月16日(月)実施 298名 指ヶ谷小学校 11月17日(火)実施 205名 【平成23年度～】中学校／シエナ・ウインド・オーケストラ 文林中学校 10月8日(木)実施 77名 茗台中学校 中止	プロのアーティストによる生演奏を初めて鑑賞する児童・生徒もあり、毎回、高い評価を得ている。 令和2年度は、新型コロナウイルスの影響により1回中止となった。	年間で、小学校は実施を希望する学校2校、中学校は行政順に2校の訪問となっているため、体験できないまま卒業してしまう児童・生徒が多数いる。また、興味を持って鑑賞してもらったため、小・中学生のニーズにあったプログラムを実施していく必要がある。	児童・生徒の感想や学校の要望に応じた演奏曲の選定や児童・生徒が参加するプログラムを取り入れる。	アカデミー 推進課	
					決算	2,310	実績数	3 回						75.0%
							申込数	—						—

整理No.	頁	総合戦略 事業番号	事業名	事業概要	事業費(千円)		実績(数)		参加者 満足度	事業実施内容	成果	課題	課題解決に向けた取組	担当課	
					予算	決算	当初予定数 (定員等)	実績数							申込数
6	42		文の京コミュニ ティコンサート	区民が気軽に文化芸術に親しむ機会を提供するため、区内ミュージアムネットワークにおいてコンサートを実施する。	330	0	2回	0回	0.0%	—	【平成22年度～】 令和2年度は新型コロナウイルスの影響により開催中止。	ミュージアム施設等で出前コンサートを行い、区民にとってより身近な場で生演奏を聴く機会を提供すること目的としているが、令和2年度は新型コロナウイルスの影響により開催を中止した。例年は、観客の満足度も高く、地域のニーズにあった事業となっている。	会場のキャパシティーにより、来場者数を制限せざるを得ない場合がある。また、観客のニーズにあった公演を実施していく必要がある。	過去の来場者アンケートや開催施設の意見を聴き、演奏するアーティストと協議の上、プログラムを構成する。	アカデミー 推進課
【基本的な方向性(2)】だれもが参加しやすい仕組みづくり															
7	43	118	小・中学生のための歴史教室	夏休み期間中にクイズイベントなどを実施し、参加することを契機として、歴史・文化についての興味や文京区への愛着を深める。	55	26	—	69人	—	—	【実施期間】 7月30日～8月23日 【場所】 常設展示室 【内容】 「わがはい君シルエットクイズ」として、歴史館の展示物に関するクイズに回答する。	新型コロナウイルス感染症拡大防止に最大限配慮し、館内に長時間滞留しないようクイズの問題数を少なくして開催した。	新型コロナウイルス感染症防止等のため、参加の方法を検討する必要がある。	令和3年度は空調工事による休館があり、ホームページ上に問題を掲載して回答する形を計画している。	アカデミー 推進課
8	43		文京ミュージ フェスタ	区内にある博物館・美術館・庭園など38施設を結ぶ「文の京ミュージアムネットワーク」の合同イベント。各施設が持つ文化的資産や歴史的資産を紹介する。	132	213	—	814人	—	—	実施日：12月15日～20日 文京ミュージアムネットワーク加盟施設による展示を実施。 26施設が参加(展示17施設、チラシまたはポスターのみ9施設)。 ※なお、令和2年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、内容や期間を変更して開催。(展示のみ実施し、密を避けるため会期を延ばして開催した。)	新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、通常通りの開催が困難な状況下で、例年とは違った形での実施を試みる事ができた。	コロナ禍における事業内容や実施方法を引き続き検討していく必要がある。また、出展施設の固定化も課題である。	内容や手法をその都度検討しながら、ミュージアム施設の魅力を幅広く周知するべく事業を展開していく。	アカデミー 推進課
9	43		子ども俳句大会	中学生に俳句を通して自然や四季、日本語の美しさ、俳句の楽しさを周知するため、区内中学校在学学生を対象に、俳句を募集し、優秀作品を発表する。	72	65	—	1,204句	—	—	【平成28年度～】 ・中学生俳句大会(募集期間10～11月) 応募数1,204句	優れた作品には記念品を贈呈した。また、入選作品をまとめた作品集を発行した。	応募数は学校の協力に負うところが大きく、その数は年によって増減する。	区立中学校の協力を得て、事業周知を事前に徹底し、広く募集する。	アカデミー 推進課
10	43		親子向けコン サート	区及び(公財)文京アカデミーと事業提携を結ぶ、東京フィルハーモニー交響楽団及びシエナ・ウインド・オーケストラの協力により、子どもが保護者等と一緒に楽しめるコンサートを開催する。	5,324	1,433	1,151人	0人	0.0%	—	【平成23年度～】東京フィル・親子で楽しむ “はじめてのオーケストラ” 第1回 8月22日(土)中止 第2回 8月23日(日)中止 【平成23年度～】シエナ フルーツの国のおんがくパーティー♪ 第1回 3月20日(土)中止 第2回 3月21日(日)中止	事業提携団体の協力を得て、親子向けのコンサートを開催している。自主制作による公演であり、例年、リピーターも多く、観客から高い評価を得ている。令和2年度については、新型コロナウイルスの影響により中止となった。	ホールの来場者を増やすため、さらなるファンの獲得と定着を図る必要がある。	来場者アンケート等を参考に、出演者等の協力を得て演奏曲や演出等を見直し、より魅力的な内容とする。	アカデミー 推進課
【基本的な方向性(3)】多様な主体・媒体による情報提供の仕組みづくり															
11	44		紙媒体による情 報提供	区報や指定管理者の発行する情報紙により、文化芸術関連情報を提供する。	16,101	16,100	1,200,000部	1,200,000部	100.0%	—	指定管理者発行の「スクエア」による文化芸術関連情報の提供	発行部数毎月100,000部 【内訳】 区内新聞折込配布90,000部 窓口・駅・大学10,000部 経費の半分は財団自主財源で発行	区民に信頼される情報紙として、読みやすく、わかりやすい紙面づくりをする必要がある。	編集部会を定期的に開催し、掲載内容の共有や記載方法の統一化など、情報共有を図る。	アカデミー 推進課

令和3年度 事業調査結果A 文化芸術分野(令和2年度実施事業)

【分野別目標2】文化芸術を鑑賞・創造する活動の支援

整理No.	頁	総合戦略事業番号	事業名	事業概要	事業費(千円)	実績(数)	参加者満足度	事業実施内容	成果	課題	課題解決に向けた取組	担当課		
【基本的な方向性(1)】鑑賞・参加・創造・発表の機会と場所の充実														
12	45		「アートウォール・シビック」への作品展示	若手芸術家の育成を図るため、シビックセンターの壁面を利用して平面美術作品の展示を行う。	予算	30	当初予定数(定員等)	—	7回実施(8・9・11・12・1・2・3月) ※上記以外は新型コロナウイルス感染症の影響等により中止。 総出品者数58人、総出品点数184点 あー夏休み展、地平展、宇田幸正・一井洋子二人展、誰も通らない廊下だけど…密かに藝(愛)が育まれてるんだぜ展、美it展、祈りのかたち展、リアン文京 冬の贈り物展	新型コロナウイルス感染症拡大により中止となってしまった月もあったが、区民に作品発表の場を提供するとともに、来庁者が気軽に美術作品に触れる機会を提供することができた。	新規出品者を増やしていく工夫が必要である。	出品者の募集について、周知方法等の見直しを行う。	アカデミー推進課	
					決算	30	実績数	—						
							申込数	—						
13	45		観客参加型公演	区及び(公財)文京アカデミーと事業提携を結ぶ、太鼓芸能集団鼓童の協力により、和太鼓の演奏体験ができる公演とワークショップを開催する。	予算	1,001	当初予定数(定員等)	573人	【平成22年度～】文京シビックに“鼓童”がやってくる！ 鼓童 ぶんきょう交流公演2020 特別編 みる！きく！たたく！ 8月1日(土)実施 76名 ※令和2年度は、新型コロナウイルスの影響により、実施方法および規模を変更・縮小して開催。	例年は、公演前にワークショップを実施すると共に、公演の中でも実際に和太鼓演奏を体験する機会を提供しているが、令和2年度は東京2020オリンピック・パラリンピックにあわせ、特別編として和太鼓演奏体験するワークショップをメインとした公演として計画した。新型コロナウイルスの影響により規模を縮小しての開催となったが、参加者は演奏体験を堪能することができ、好評を得た。	例年、ワークショップは定員以上の申し込みがあり抽選となっている。	出演者等と協議し、ワークショップ参加人数の増加について検討する。	アカデミー推進課	
					決算	1,001	実績数	76人						13.3%
							申込数	—						—
14	45	117	朗読コンテスト	文化人顕彰事業の一環として行うもので、文京ゆかりの作家の作品を課題作として、朗読コンテストを行う。跡見学園女子大学との大学連携により実施する。	予算	1,760	当初予定数(定員等)	200人	【平成24年度～】年1回 課題作家:太宰治、宮沢賢治、川端康成、芥川龍之介、志賀直哉、中島敦 録音審査応募者:276人、本選:11月15日 出場者:16人 観覧者:94人 会場:跡見学園女子大学プロサラムホール CATV収録・放映	平成29年度以降、受付期間最終日を待たずに定員に達する状態が続いており、多くの方の関心を集めている。令和2年度は新型コロナウイルス感染症対策として本選の観覧者数を例年の1/3に制限して開催した。	年々、受付開始日の応募者数が増え、元年度は開始日当日に定員に達してしまった。申込み定員の増加等の対応について、今後、検討していく必要がある。	跡見学園と今後の受付方法等について協議していく。	アカデミー推進課	
					決算	1,760	実績数	276人						138.0%
							申込数	276人						138.0%
15		119	かるたの街文京を発信!	文京区にゆかりある小倉百人一首かるたの魅力を発信するため、講演会や体験イベント、かるた教室等を実施する。	予算	13,751	当初予定数(定員等)	—	競技かるたを題材とした人気漫画「ちはやふる」とのコラボ事業を展開した。(文京ミュージックマップ・B-ぐるらッピンングバス・B-ぐるら1日乗車券・文京観光ガイドマップ・B-ぐるらマップ) R2.5月に開催予定だった「2020国際小倉百人一首かるたフェスティバル」は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、開催中止。	人気漫画「ちはやふる」とコラボし、SNS等で積極的に発信することで、多くの方にかるたの街文京をPRすることができた。	かるたという競技の性質上、コロナ禍においては、大会や体験イベント等の実施が難しい。コロナ禍においてもかるたの魅力を発信していく方法を検討する必要がある。	漫画「ちはやふる」とのコラボ事業は、令和3年度も継続し、引き続きかるたの街文京を発信していく。また、一般社団法人全日本かるた協会と協議しながら、大会や体験イベント等も含め、実施可能な事業内容・手法について検討する。	アカデミー推進課	
					決算	8,066	実績数	—						
							申込数	—						
16			まるキャンマーケット～夏の陣、冬の陣～	文京区をまるごとキャンパスに見立て、区内各所において、様々な人々が文化芸術を見て、聴いて、体験できる様々なイベントを実施する。	予算	3,702	当初予定数(定員等)	—	令和2年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため開催中止。(薪能・華茶書香道体験)	令和2年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため開催中止。(薪能・華茶書香道体験)	新型コロナウイルス感染症拡大により2年連続で中止となった華茶書香道体験について、接触を伴う体験イベントであることから、実施方法・代替事業等について検討する必要がある。	華茶道連盟・書道連盟・区内寺社等関係者と、事業内容などについて協議していく。	アカデミー推進課	
					決算	—	実績数	—						
							申込数	—						
17		120	文京シビックホール(響きの森文京公会堂)の施設運営	特定天井の耐震化及び機能改善に伴う改修工事を実施する。シビックホール開館20周年を記念した各種事業を実施する。	予算	—	当初予定数(定員等)	—	文京シビックセンター大ホール・小ホール等特定天井他改修工事について、実施設計を行った。 20周年記念事業については、令和元年度に14事業、令和2年度に6事業を実施した。新型コロナウイルスの影響により、2カ年合わせて9事業が中止となった。 令和元年度入場者数:25,009人 令和2年度入場者数:3,366人(リモートコンサート視聴回数:16,280回)	実施設計が完了し、施工業者が決定した。 大ホール・小ホールとも令和3年3月31日をもって改修工事に伴い休館した。	改修工事のため、3年4月から4年秋(予定)まで休館する。休館中も質の高い文化芸術に触れる機会の提供が求められる。	リニューアルオープン後の集客に向けた取組の検討等が必要である。	アカデミー推進課	
					決算	—	実績数	3,366人						
							申込数	—						

整理No.	頁	総合戦略 事業番号	事業名	事業概要	事業費(千円)	実績(数)	参加者満足度	事業実施内容	成果	課題	課題解決に向けた取組	担当課			
【基本的な方向性(2)】 文化芸術活動をする人・団体への支援															
18	46		吹奏楽アンサンブルコンテスト	公募したアンサンブル団体に事業提携を結ぶシエナ・ウインド・オーケストラの団員が演奏指導した上で、演奏の講評・表彰を行うコンテストを開催する。	予算	1,219	当初予定数(定員等)	27 団体	90.2%	【平成22年度～】第11回 シエナdeアン・コン!～アンサンブルコンテスト～ 12月12日(土)実施 326名(4部門・出場21団体) ※令和2年度は、新型コロナウイルスの影響により、規模を縮小して開催。	平成25年度より出場団体にシエナメンバーによる2時間の事前レッスンを開始。プロからの直接指導ということもあり、参加団体から高い評価を得ている。 平成30年度から小学生部門を新設し、参加者の幅を広げている。	小学生部門を設置したことにより新たな観客を得ることができている。一方、一般部門については参加団体および観客数が伸び悩んでいる。 令和2年度は、参加者の新型コロナウイルス感染防止対策が必要とされた。	広報紙およびホームページによる宣伝を行うと共に、出演者および関係者によるロコミ宣伝の協力を依頼していく。	アカデミー推進課	
					決算	1,219	実績数	21 団体							77.8%
							申込数	—							—
19	46		楽器演奏指導	区立中学校の吹奏楽部員を対象に、事業提携を結ぶシエナ・ウインド・オーケストラ団員が楽器演奏指導を行う。	予算	825	当初予定数(定員等)	30 回	—	【平成23年度～】中学生のための吹奏楽クリニック 8月19日(水)～9月19日(土)実施 83名(全27回・区立中学校9校) ※新型コロナウイルスの影響により、1校実施中止(辞退)。	個別レッスンに近い形で実施されており、クリニックを受けた各校から高い評価を得ている。	普段の練習状況やどのような指導を希望しているか等、各校の状況について事前に細かく把握した上で、指導にあたることが求められている。 令和2年度は、参加者の新型コロナウイルス感染防止対策が必要とされた。	事前に吹奏楽部顧問の先生にニーズを聴き取り、指導者であるシエナ・ウインド・オーケストラの団員に伝えた上で指導にあたってもらう。	アカデミー推進課	
					決算	770	実績数	27 回							90.0%
							申込数	—							—
【基本的な方向性(3)】 人材の育成と活動支援															
20	47		舞台芸術創造事業(大ホール)	区民を対象にオペラ公演の開催を目標とする講習会を実施し、卒業公演を開催する。	予算	9,810	当初予定数(定員等)	126 人	—	【平成12年度～】CITTADINO歌劇団 第21期生 講習会 令和2年10月～令和3年2月まで週1～2回実施 受講者数 キャスト12名 合唱団47名 公演 2月14日(日)中止 ※新型コロナウイルスの影響により、実施方法および規模を変更・縮小して講習を実施。公演については中止。	区民参加事業でありながら、オーケストラ伴奏、舞台セットを組んだ本格的なオペラ上演であり、例年好評を得ている。合唱団には毎年100名以上の応募があり、定着が見られる。 令和2年については、新型コロナウイルスに対応するためZoom講習の実施等を行ったが、公演の開催は中止となった。	合唱団の応募について定着が見られるが、パートによって応募数にバラつきが生じている。	広報紙による周知だけでなく、参加者募集チラシをより広く配布し周知していく。	アカデミー推進課	
					決算	7,205	実績数	59 人							46.8%
							申込数	—							—
21	47		舞台芸術創造事業(小ホール)	区民を対象に演劇公演の開催を目標とする講習会を実施し、卒業公演を開催する。	予算	2,841	当初予定数(定員等)	15 人	—	【平成8年度～】音楽劇ワークショップ “ぶんきょう演劇塾” 講習会 令和2年6月～令和3年1月の週2回 公演 1月31日(日)中止 新型コロナウイルスに対応するため事業内容を変更し、“ぶんきょう朗読塾”として開催。 講習会 令和2年12月～令和3年3月 延べ22回実施 受講生 8人 公演 3月23日(火) 中止	平成29年度からは新たな講師を迎えて内容を一新した。卒業公演では舞台手話通訳を取り入れる等により、観客からも高い評価を得ている。 令和2年については、新型コロナウイルスに対応するため、事業内容および講習方法(Zoom講習)の変更を行ったが、公演の開催は中止となった。	参加者のニーズにより適合したプログラムを提供していく必要がある。	参加者の意見を参考に事業内容を見直し、新たな演劇ワークショップとしてリニューアルする。	アカデミー推進課	
					決算	935	実績数	8 人							53.3%
							申込数	—							—
22	47		シビックコンサート	クラシック、ポップス、ジャズ等、様々なジャンルの音楽を、区内の大学及び専門学校生が演奏するランチタイムコンサートを実施する。 平成28年度より、財団の指定管理事業として実施。	予算	0	当初予定数(定員等)	12 回	—	【平成8年度～】 日時 毎月1回開催(原則第4水曜日)12:15～12:45 会場 区民ひろば 観覧者数 延べ166人(7・8月のみ開催)	平成28年度より指定管理事業として財団で実施。出演する学生へ観客の前で演奏する機会の提供となっている。また、オープンスペースでの無料コンサートであり、誰でも気軽に音楽を楽しんでもらうことができる。 令和2年については、新型コロナウイルスの影響により7・8月のみ開催し、他の月は中止となった。	令和3年度からのホール改修工事に伴い、事業が休止となる。改修工事後の事業再開に向けて準備を行う必要がある。	協力いただいている大学等と協議し、スケジュール等を調整していく。	アカデミー推進課	
					決算	0	実績数	2 回							16.7%
							申込数	—							—
23	47		カレッジコンサート	教育機関が集中している文京区の特徴を生かし、区内の大学及び専門学校の音楽クラブ・サークルによるコンサートを開催する。	予算	0	当初予定数(定員等)	8 団体	—	【平成15年度～】 公演日 12月27日(日) 中止 会場 文京シビックホール小ホール	平成28年度より指定管理事業として財団で実施。区内大学等の団体が参加し、実行委員会を組織するため、学校間の交流につながっている。また一般客を招待しているため、学生が広い世代に向けて演奏する機会にもなっている。 令和2年については、新型コロナウイルスの影響により中止となった。	参加団体による実行委員会形式で事業運営を行ってきた。参加者のニーズにあった事業運営について検討する必要がある。 また、令和3年度からのホール改修工事に伴い事業が休止となる。改修工事後の事業再開に向けて準備を行う必要がある。	協力いただいている大学等と協議し、事業運営方法やスケジュール等を調整していく。	アカデミー推進課	
					決算	0	実績数	0 団体							0.0%
							申込数	—							—

令和3年度 事業調査結果A 文化芸術分野(令和2年度実施事業)

【分野別目標3】「文の京」の文化を守り、伝え、活用する仕組みづくり

整理No.	頁	総合戦略事業番号	事業名	事業概要	事業費(千円)	実績(数)	参加者満足度	事業実施内容	成果	課題	課題解決に向けた取組	担当課		
【基本的な方向性(1)】地域の伝統や歴史に親しむ機会と場所の提供・充実														
24	48	117	史跡めぐり	年3回、文京ふるさと歴史館友の会との協働事業として、テーマを考え、区内及び近隣の歴史散歩を実施している。特別展や収蔵品展など、歴史館の展示に因んだテーマでも行っている。	予算	148	当初予定数(定員等)	270人	—	【平成18年度～】年3回(90人/回)新型コロナウイルス感染症対策として通常行う6月・11月分を休止し、3月4日実施予定で「コンドルさんぽ」を募集したが、緊急事態宣言期間延長となり中止した。	新型コロナウイルス感染症対策として、1回の定員を50人から30人に減らし、手指消毒や検温などの対策を準備したが中止した。	申込方法として現行の往復はがきだけではなく、電子申請を加えるよう要望があった。	新型コロナウイルス感染症対策の一環として、外出を要しない申込方法である電子申請を検討する。	アカデミー推進課
					決算	0	実績数	—	—					
							申込数	175人	64.8%					
25	48	117	文京ゆかりの文化人顕彰事業	文京区に足跡を残した文化人を顕彰し、多様な文化的資源の継承、発掘及び情報発信を進める。年度ごとに生誕没後の記念の年にあたる文化人を中心に、朗読コンテスト、講演会等の顕彰事業を実施する。	予算	525	当初予定数(定員等)	60人	—	【平成26年度～】嘉納治五郎(生誕160年)を中心に顕彰事業を実施。事業リーフレット発行(年1回):B4両面三つ折 7,500部発行・配布 歴史講演会:1月23日「嘉納治五郎と女子教育」講師:真田久氏(筑波大学教授)定員30人申込者16人 会場:男女平等センター研修室A※緊急事態宣言期間のため中止した。 史跡めぐり:2月17日実施予定で「治五郎さんぽ」を募集したが、緊急事態宣言期間延長となり中止した。定員30人申込者24人	歴史講演会及び史跡めぐりについて、新型コロナウイルス感染症対策として、1回の定員を減らし、手指消毒や検温などの対策を準備したが中止した。	今後も、対象文化人を新たな視点を加えて選定する必要がある。史跡めぐりの申込方法として現行の往復はがきだけではなく、電子申請を加えるよう要望があった。	引き続き顕彰対象文化人の選定を多様な視点から行っていく。新型コロナウイルス感染症対策の一環として、外出を要しない申込方法である電子申請を検討する。	アカデミー推進課
					決算	241	実績数	—	—					
							申込数	40人	66.7%					
26	48	文の京ワークショップ	「現代の観潮楼=交流サロン」として、森鷗外を中心テーマに幅広い利用者をひきつける多彩な事業を展開する。持続的な集客を図るとともに森鷗外や「文の京」を広く発信する。	予算	200	当初予定数(定員等)	250人	—	・ふみの日イベント 【実施日】8月、12月、2月各23日 ※4、5、7、10、11、1月は中止 【場所】森鷗外記念館エントランス ・「奥田佳通のクラシック音楽を一緒に!」全5回:講師 奥田佳通氏(音楽評論家) 【実施日】9月12日、26日、10月10日、24日、11月7日 【場所】森鷗外記念館講座室	・ふみの日イベントに関しては地域の皆さんに定着したようで、カード作りや年賀状の回には引き続き毎年同じ方が見えるようになった。 ・音楽講座は鷗外留学先のドイツ音楽を中心に鷗外が訳したオペラなども題材とし、文学と音楽を学べる稀有な機会と参加された方からも高評価であった。	・ふみの日イベントは毎月恒例のため、中止かどうか電話問い合わせや受付への質問があった。 ・音楽講座に関し、講座室には窓がないため換気を強くし、扉を開けていたため、席によっては寒いという意見があった。	講座やイベント中止の情報が参加者に早急かつ確実に伝わるよう、周知方法を工夫する。 また、参加者からの要望・意見を記録し、講座やイベントの運営を計画する際に対応を検討する。	アカデミー推進課	
				決算	171	実績数	125人	50.0%						
						申込数	62人	24.8%						
27	48	新・観潮楼歌会	森鷗外を中心に多くの文人たちが集い、交流した「観潮楼歌会」にちなみ、幅広い文化・芸術体験事業を展開する。	予算	200	当初予定数(定員等)	336人	—	・「千駄木映画まつり」※新型コロナウイルス感染防止対策のため中止 ・「モリキネ落語」らっ好兼太郎落語道中膝栗毛」※緊急事態宣言発令のため中止 ・特別講演会「近代詩歌の父 鷗外」高橋睦郎氏※緊急事態宣言発令のため中止	千駄木映画まつりは上千駄木町会との連携事業であったが、自治会でのイベントは感染対策のため全て中止した。 他、落語、特別講演会は緊急事態宣言発令中であったため中止した。	人数を削減しての開催が難しい、場所の確保ができないなど、一昨年の計画のままでは開催できないイベントも発生した。	収支のバランスを考えた講演会の設定やオンラインイベントなど、ニューノーマルな講座の在り方を模索する。	アカデミー推進課	
				決算	14	実績数	0人	—						
						申込数	0人	—						
28	48	127	「文の京文化発信プロジェクト」	文京区らしさを生かした芸術文化の創造・発信と、事業を通じた交流を目的として実施しているプロジェクト。演劇、音楽、伝統芸能、美術など様々な分野のイベントを対象としており、全国規模の芸術文化団体や、全国の自治体との協働(共催)により、特色を生かした創造的な活動とその成果の発信を通じて、文の京・文京を広くアピールする。	予算	3,182	当初予定数(定員等)	—	—	・かなざわ講座(動画配信) 配信日:1月25日～ 場所:区公式YouTubeチャンネル ※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、講義形式ではなく、動画配信を実施した。 ※啄木学級は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、令和2年度は開催中止。	かなざわ講座を動画配信で行うことにより、日時や地域を問わず、区民を始めとした多くの方にご覧いただき、金沢市の歴史や魅力について発信することができた。	コロナ禍における事業の実施方法を検討しつつ、区と協定締結している自治体について、区民に関心をもってもらうきっかけ作りを継続して行っていかなければならない。	オンラインの活用等も含め、金沢市や盛岡市と事業の実施方法等について協議していく。	アカデミー推進課
					決算	12	実績数	—	—					
							申込数	—	—					

整理No.	頁	総合戦略事業番号	事業名	事業概要	事業費(千円)	実績(数)	参加者満足度	事業実施内容	成果	課題	課題解決に向けた取組	担当課			
【基本的な方向性(2)】「文の京」の伝統文化を守り、伝える人材の育成と活動支援															
29	49		文京ふるさと歴史館友の会の支援	文京ふるさと歴史館友の会の自主的な活動を支援し、地域の現状や歴史・文化を知るための学習機会の充実を図るため、活動場所の提供、主催事業「まち案内」の受付取次、自主事業への助言・協力などの支援を行っている。	予算	106	当初予定数(定員等)	—	—	—	【平成3年度～】友の会自主企画事業(史跡巡り2回・研究発表会1回)役員会(月1回)会報・花時計(共同PR紙)発行(各1回)新型コロナウイルス感染症対策のため総会・講演会等中止	歴史館の協力団体として、自主的な活動が充実して円滑に行われている。歴史館主催事業に対して友の会からの積極的な協力が得られている。	新型コロナウイルス感染症等による休館や会の活動自粛等に伴う会員の減少をとどめる必要がある。	現在、大変良好な関係が保たれており、今後も支援を継続していく。	アカデミー推進課
					決算	86	実績数	251	—						
							申込数	—	—						
30	49		文京ふるさと歴史館常設展示解説ボランティア	ふるさと歴史館友の会会員有志による解説ボランティアを養成し、来館者への案内を行うことにより、文京区の歴史・文化の普及を図る。	予算	440	当初予定数(定員等)	—	—	—	【平成25年度～】毎週土・日曜午後、事前申込により随時実施していたが、令和2年2月23日から新型コロナウイルス感染症防止対策のため休止	令和2年度中に活動できなかったが、過去には利用者の常設展示に対する理解が深まる説明を行い、好評が得られた。	休館中、各ガイドがスキルアップできるような何らかの働きかけが必要である。	ガイド自身のスキルアップにつながる事業の実施について検討していく。	アカデミー推進課
					決算	0	実績数	—	—						
							申込数	—	—						
31	49		森鷗外記念館解説ボランティア	解説ボランティアを養成し、自主的な活動を促進する。新たな活動を企画し、活動のブラッシュアップとともに、文京区の文学館としての機能強化を図る。	予算	150	当初予定数(定員等)	—	—	—	【平成25年度～】毎週土・日曜午後、事前申込により随時実施していたが、令和2年2月23日より新型コロナウイルス感染症拡大防止対策のため休止	常設展示の解説や建築、館外史跡などの情報提供を行うため、好評を得ている。	ボランティアの平均年齢が後期高齢者にあたるため、今後の活動方法について再考したいという声もあった。	解説者、参加者共に万全な感染対策を実施しての再開としなくてはならないため、研修などを実施し感染症予防策も学び安全を確保する。またウェビナーなど来館以外の自主学習方法を提供することができ好評だったため今後も方法を探る。	アカデミー推進課
					決算	0	実績数	—	—						
							申込数	—	—						
32	49		技能名匠認定事業	永く同一職業に従事し、経験が豊かで、物を造る技術が非常に優れ、製作物に信頼性があり、かつ、後進の指導及び育成に積極的な方を技能名匠として認定する。	予算	317	当初予定数(定員等)	7人	—	—	永く同一職業に従事し、経験が豊かで、物を造る技術が非常に優れ、製作物に信頼性があり、かつ、後進の指導及び育成に積極的な方を技能名匠として認定する。	文京区技能名匠者を認定したこと、ものづくりに携わっている技術者の社会的評価を高め、伝統的技術、技法の維持向上と技術習得意欲の促進を図ることができた。	事業実施当初に比べ年度ごとの認定者数が落ち着いてきている。	認定者数増加のため、更なる事業周知に努める。	経済課
					決算	145	実績数	2人	28.6%						
							申込数	2人	28.6%						
【基本的な方向性(3)】文化資源の再発見と保存・活用の推進															
33		118	文京ふるさと歴史館特別展	文京区の歴史や文化に関することをテーマに設定し、資料収集、調査研究した成果を多角的に掘り下げた特別展を開催する。	予算	5,965	当初予定数(定員等)	—	—	—	令和3年1月30日から特別展「コンドル博士と岩崎家四代」を計画し、ポスター・チラシ印刷、会場設営まで行ったが、資料借用は取りやめ、展示自体を新型コロナウイルス感染症に伴う緊急事態宣言のため中止した。	付帯事業である講演会「ジョサイア・コンドルの庭園観を探る」(講師：藤井英二郎氏(千葉大名大学教授))は応募者が178人あったが無観客で収録を行った。CATV放映後文京区公式YouTubeで配信した。展示自体は令和3年度に実施した。	事業中止又は延期の判断時期、中止した場合の代替案などの検討が必要である。	感染状況を把握し、国や都の要請状況等を総合的に勘案して、中止等の判断を行う。	アカデミー推進課
					決算	3,815	実績数	—	—						
							申込数	—	—						
34		118	文京ふるさと歴史館収蔵品展	文京区の歴史や文化に関することをテーマに設定し、資料収集、調査研究した成果を多角的に掘り下げた館蔵資料を中心とした収蔵品展を開催する。	予算	911	当初予定数(定員等)	—	—	—	新型コロナウイルス感染症の影響により中止した。	新型コロナウイルス感染症の影響により中止した。予定していた展示は、令和3年度に実施予定。	事業中止又は延期の判断時期、中止した場合の代替案などの検討が必要である。	感染状況を把握し、国や都の要請状況等を総合的に勘案して、中止等の判断を行う。	アカデミー推進課
					決算	0	実績数	—	—						
							申込数	—	—						
35			森鷗外記念館特別展・コレクション企画	森鷗外の作品や人生に関連することをテーマに、資料収集、調査研究した成果を、特別展及び館蔵品を中心としたコレクション企画として実施する。	予算	8,000	当初予定数(定員等)	—	—	—	【実施日】1月18日～8月2日※3月3日～5月31日まで臨時休館 コレクション展「父と母-鷗外のファミリーヒストリー」※関連講演会1回、ギャラリートーク2回(3/1は中止) 8月8日～11月29日 特別展「森家の歳時記」※関連講演会2回、ギャラリートークは感染症防止策のため中止 12月4日～3月28日 コレクション展「拝啓、森鷗外様-鷗外に届いた手紙」※関連講演会は緊急事態宣言発令のため中止、ギャラリートーク1回(2/6は緊急事態宣言のため中止)	年間を通して「時」をテーマに展示会を企画、開催した。特別展については研究者や文学館関係者の来館も多く、他館との交流や連携を実施することができた。コレクション展については、両展示会ともメディアへの露出も多く、新規顧客を獲得できたため今後の来館へ繋げる。	緊急事態宣言の発令により、大幅なスケジュール改正を強いられ、調査や執筆についてもスムーズに進まない事態が発生した。また、スケジュール変更による募集中止やイベント中止の告知の対応をした。	様々な事態の発生に対し、自館の構想や努力でどこまで対応できるか、今後、緊急事態を想定した回答を作成し、順応できるように対策案を立てる。	アカデミー推進課
					決算	4,585	実績数	6,131人	—						
							申込数	—	—						

整理No.	頁	総合戦略事業番号	事業名	事業概要	事業費(千円)		実績(数)		参加者満足度	事業実施内容	成果	課題	課題解決に向けた取組	担当課	
					予算	決算	当初予定数(定員等)	実績数							申請数
36			映像資料調査・保存事業	貴重な映像資料を地域文化遺産として後世へ継承するため、区民等から区内の過去の情景や風俗等が記録されている8mm・16mmフィルムを収集し、デジタル化による保存作業を行う。また、これらの映像資料を20分程度の映像作品として編集・加工し、BGMやナレーションを加えた上でDVD化する。	予算	0	当初予定数(定員等)	—	—	—	新たに映像の収集や活用はせず、現在保持しているものの保持に努めた。	問い合わせに対し、貸し出しの可否や手続きを随時対応している。	特になし	特になし	アカデミー推進課
					決算	0	実績数	—	—						
							申請数	—	—						
37			指定文化財等の保護・保存と管理	文化遺産等の維持・保全と活用のため①～③を行う。 ①国・都・区指定文化財を保護するためにその修理事業に対して補助金を交付するとともに区指定文化財に対して奨励金を交付する。 ②区指定文化財を調査・記録し、保護に努める。 ③区内の文化財を広く区民に周知するとともに、区民の文化財に対する理解と認識をうながすため、文化財・坂道標示板の維持管理及び新設を行う。	予算	13,025	当初予定数(定員等)	121件	—	—	①補助金の交付申請:11件 9,699千円 奨励金の交付申請:72件 1,240千円 ②区指定文化財に対し、次年度補助金申請の有無を確認するため事業計画を送付:34件 ③文化財・坂道標示板:移設1基、再設置1基、建替1基	①補助金の交付申請があったところに対しては、補助金の支払いを行った。 奨励金の交付申請があったところに対しては、奨励金の支払いを行った。 ②事業計画を送付したところ、3件の補助金申請の希望があった。 ③老朽化しているの標示板の建替等を行った。	①文化財の維持管理・修繕には多額の費用が必要となるので、より当補助金を利用してもらい、文化財を良好な状態で保存していく必要がある。 ②計画的に事業計画を立て補助金を活用すべきであるが、年度途中での補助金活用の希望もありルールが浸透していない部分がある。 ③文化財及び坂道標示板の維持管理を実施し、必要であれば建替等を行っていく。	①、②文化財所有者には補助金活用の手順等の周知を徹底し、補助金の活用を促進する。 ③標示板の不具合の早期発見に向け、既存標示板の点検等を行う。	教育総務課
					決算	11,845	実績数	89件	—						
							申請数	—	—						

【基本的な方向性(4)】文化資源に関する情報収集・整理と発信

38	51		文の京ミュージアムネットワーク	区内博物館、美術館、庭園等、文化・芸術に関する施設が「文の京ミュージアムネットワーク」(文京ミュージアムネットワーク)として連携し、各施設の特色や個性を発信する。	予算	1,725	当初予定数(定員等)	—	—	—	ミュージアム会議(書面開催) ミュージアムマップ 日本語版を12月に35,000部、英語版を2月に7,000部作成、発行	ミュージアムマップの表紙や中面に、漫画「ちはやふる」のイラストを使用することで、例年より多くの方の手に取ってもらえることができ、文京ミュージアムネットワークをPRすることができた。	各ミュージアム施設の来場者を増やせるよう、周知方法等について工夫が必要である。 また、感染症対策についての情報共有も含め、ミュージアム施設間での連携強化を図る必要がある。	令和3年度もミュージアムマップに「ちはやふる」のイラストを継続して使用し、SNS等で積極的に発信する。 また、こまめな情報提供・情報共有を心掛け、連携強化に努める。	アカデミー推進課
					決算	1,576	実績数	—	—						
							申請数	—	—						
39	51		コンピューターによる館内閲覧システム	地域の歴史や文化資源に関する情報を集約し、ふるさと歴史館来館者が、自身で知りたい情報を閲覧できる環境を提供する。	予算	1,052	当初予定数(定員等)	—	—	—	閲覧コンテンツのうち、画像情報として作成しているページについて、文字部分のテキスト化を実施するとともに、定点観測の新規撮影データを追加した。	今後のデータ更新やデータ移行が容易に行える状況が整備できた。	開館以来使用しているコンテンツが一部残っており、現在の技術に適用した仕様への変更が求められている。	毎年、古いコンテンツを徐々に改修する。	アカデミー推進課
					決算	1,052	実績数	—	—						
							申請数	—	—						
40	51		文京ふるさと歴史館だより・年報の発行	文京の歴史・文化に関する情報や、歴史館の事業、調査研究成果等について周知する。	予算	425	当初予定数(定員等)	6,500部	—	—	文京の歴史・文化に関する情報や、歴史館の事業、調査研究成果等について周知した。 の特別展・収蔵品展等の各種事業、資料収集、調査研究の成果等を掲載した。 歴史館だより 6,000部 年報 500部	区内施設・関係機関・来館者などに事業の周知ができた。	積極的に配布するように努める。	ふるさと歴史館の事業や調査研究成果等を紹介するものとして、毎年作成する。	アカデミー推進課
					決算	425	実績数	6,500部	100.0%						
							申請数	—	—						
41	51		森鷗外記念館ニュース・年報の発行	森鷗外や文学に関する情報、記念館の事業、調査研究成果等について周知する。	予算	800	当初予定数(定員等)	24,600部	—	—	森鷗外記念館における展覧会告知・報告、イベント等の活動報告、所蔵資料の紹介を掲載した。 ニュース 18,000部 年報 600部	通常は年4回の発行であるが、今年度は新型コロナウイルス感染症の影響により31号と32号は合併号を発行、3回の発行とした。	積極的に配布するように努める。	森鷗外記念館の事業や調査研究成果等を紹介するものとして、毎年作成する。	アカデミー推進課
					決算	780	実績数	18,600部	132.3%						
							申請数	—	—						